

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

# しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2016年度 Vol.3



## 環境学習講座のご案内

1月～3月の  
大人&子ども向け  
講座予定

大人向け

### 賢 江戸落語に出てくる環境嘸

昨年開催の講座で大変好評だった講師から、今年是有名な江戸落語を題材として、江戸の人たちのエコな生活についての嘸を聞きます。

(対象：一般) \*講師著書→

- 開催日/1月22日(日)
- 募集/12月11日から
- 講師/菅野俊輔 (江戸文化研究家)



小学生

### 遊んで学んで 木と友だちになろう

積み木遊びや簡単な実験を通して、木とふれあい、木の性質を学びます。キーホルダー作りもします。

(対象：小学1年～3年生)

- 開催日/2月5日(日)
- 募集/1月11日から
- 講師/渡辺繭子

(木づかい子育てネットワーク理事・事務局長)



大人向け

### 古布で作る 手作りふくさ

古い着物を再利用して、祝儀用または不祝儀用どちらかを選んで、ふくさを作ります。

(対象：一般) \*作品例→

- 開催日/2月26日(日)
- 募集/1月21日から
- 講師/南朝子 (リメイク絆)



こんな手作り  
素敵です♪

小学生

### レーウェンフックの顕微鏡を作ろう

小さなガラス玉をペットボトルのキャップにはめこんでペットボトル顕微鏡を作り、玉ねぎの薄皮や百合の花粉等を観察します。

(対象：小学4年～6年生)

- 開催日/3月5日(日)
- 募集/2月1日から
- 講師/杉山仁

(減前理科教室ふしぎ不思議)



## 春の子ども環境学習講座

小学生

### いっしょに学ぼう! 生物多様性

ゲーム、工作、観察や実験などを通して生き物や環境について学びます。

●開催日・対象

①3月18日(土)

(小学1・2年生)

生き物ピラミッドを作ろう!  
～ものづくりとゲームで生き物のつながりを学ぼう～

②3月19日(日)

(小学3・4年生)

オリジナル樹木図鑑を作ろう!  
～しながわ中央公園の樹木に密着～

③3月20日(祝)

(小学4・5・6年生)

土のひみつを解き明かそう!  
～観察と実験～

● 募集/2月11日から

\*往復はがきのみ募集

● 講師/SAPIX 環境教育センター



\*講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページにて募集開始日から掲載します。ご応募お待ちしております。

# 激減した都市のカラス

「最近カラスが減りましたね」「いいえ、うちの方では減っていませんよ」… 増えても減っても話題になるのがカラスです。東京では「生ゴミを散らかす」「人を襲う」といったマイナスのイメージもありますが、食べ物を貯食し、クルミを上空から落とし割って食べるなど、賢い鳥としても注目されています。

カラスは「減ったのか」「増えたのか」「変わらないのか」どうなんでしょうか。都市鳥研究会では、1985年以来30年間、東京都心でカラスの個体数を調査してきました。さて、カラスの羽数はどのように数えるのでしょうか。カラスは、夕方になるとねぐらに集まって夜を過ごす習性があります。これを「集団ねぐら」といいます。都心では明治神宮、自然教育園、豊島ヶ岡墓地の3カ所が集団ねぐらとして有名です。特に冬季には、都心のカラスの大部分がこの3カ所のねぐらに集まります。そこで、12月にねぐらを取り巻くように人を配置し、戻ってくる羽数を一斉に数えます。



夕方、豊島ヶ岡墓地（文京区）に集まってきたカラス

1985～2015年の間、5年ごとに個体数を調べた結果が右のグラフです。1985～2000年には右肩上がりに増加し、約3倍に増えてましたが、2000年をピークに減少に転じ、2015年には4816羽となり、30年前よりも減少しました。あたかもバブル経済と共にカラスは増加し、バブル崩壊と経済の減速にともなって減少しているかのように見えます。

カラスが増加した最大の原因は、カラスの餌となる「生ゴミ」などを大量に捨てるようになったことです。一方、2000年以降に減少した原因は、ゴミの減量や分別収集がすすみ、生ゴミをカラスに食べられないようにする工夫(カラスネットなど)が普及したことです。また、カラスの天敵であるオオタカやノスリ、ハヤブサなどの猛禽類が都心で増加したこともカラスの減少要因となりました。

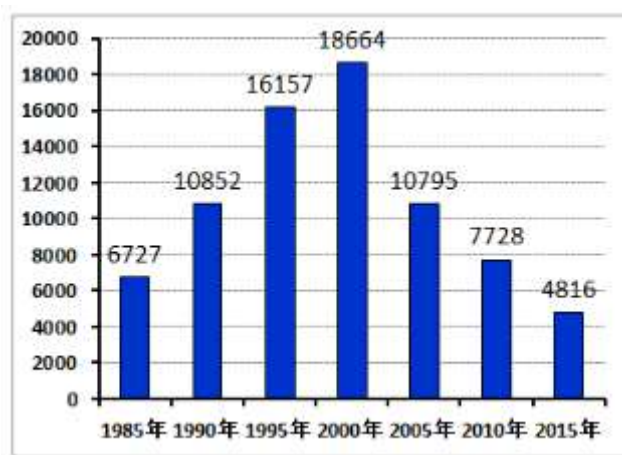


都心の上空でたたくカラスと猛禽類（ノスリ）

都心のカラスの増減は、都民の生ゴミの出し方や生活の仕方に影響されていたことが分かってきました。

(NPO法人自然観察大学学長 唐沢孝一)

東京都心のカラスの個体数変化  
(唐沢孝一・他、2016 URBAN BIRDS)



## 区民環境記者募集中

環境情報活動センターでは、「区民環境記者」を募集しています。

花の開花情報、地域の環境イベント情報、資源回収情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を、区民環境記者として登録します。いただいた記事や写真は、環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。



区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで  
E-mail : center@shinagawa-eco.jp  
TEL : 03-5742-6533

# 環境記者レポート



平塚2丁目町会は、商店街・子どもたち・高齢者と多彩な色を持つ町会だが、そのどれもが活気を持ち、明るい。この明るさは何から来ているのか、町会長の志賀勝さんに伺ってみた。



## ●みんなが楽しむ町会活動

町会の悩みと言えば高齢化。子どもが寄り付かない町会が多い中、平塚2丁目の活動はどうやら違う様だ。毎年3月に行われるチャレンジパークでは、消防署の協力の下、公園で防災を学ぶ。地震や煙を体験し、そして最後にはお餅を食べる。なんとこのイベントは来場者が500名ほどになることも有るとか。また、夏休みには町会会館を使ったお泊まり会もある。ドジョウすくいにそうめん流し、どれも子どもが喜ぶものばかりで、子どもが喜べば親も喜び、自然と地域のネットワークが創られている。

## ●人にも優しく、環境にもやさしく

平塚2丁目町会の取組は、ただやみくもに人とのつながりを創ろうとしているのではない。

「環境」というテーマを真剣に考え、その活動を通して人とのつながりを創り、さらにその人を豊かにする活動を行っている。その代表例が「花いっぱい運動」で、町会がプランターを無料貸与



町会会館の前も花でいっぱい

し、それを借主の庭先に置いてもらう。手入れをする借主と、その花を見る人の心を豊かにする。町会の人でもそれ以外の人でも関係なく、その地域を歩くと気持ちが明るくなる、というのが狙いだ。また、プランターを渡す時はもちろん、花を育てるにあたって町会とのコミュニケーションも生まれている。

土づくりから自分たちで行い、年4回講師を呼んで花植え講習を開催しており、こういったエコサイクルから平成23年度に環境賞を受賞し、区からも評価されていることがわかる。

その他にも町会会館の屋上緑化や廃材を使ったメダカハウスを会館入り口に置き、メダカをのぞいている子どもたちにはそのメダカを譲っている。



廃土や野菜の残さで熟成土壌を作る



品川区協働事業の助成を受けて取り組んだ「花いっぱい運動」の町会会館屋上緑化。常緑キンソウが育つ。



廃材を使ったメダカハウス。子どもたちが貰って育てる。

(環境記者 新居崎邦明)

# 環境記者情報交換会

環境記者の皆さんにお集まりいただき、年に3回情報交換会を行っています。11月1日に今年度2回目の会合を開きました。

まず、まちづくりコーディネーターの佐山吉孝さんのお話を伺いました。「東海道品川宿・その風土とまちづくりの視点」というタイトルで、歴史、風土、文化とまちづくりの関係を見ていきました。



次に、環境記者の皆さんに、日頃の活動の様子や興味を持っていらっしゃる事柄について報告していただきました。

40年余りにわたって京浜運河をはじめとした海の貝を観察している記者さんは、運河では106番目となる新たな種類の貝を発見したこと、貝の生育状況を通じて感じる相模湾の海での温暖化の兆候についてお話されました。初開催の京浜運河エレクトリカルパレードや、品川区地域安全のつどいの様子を報告して下さった方もいらっしゃいました。地域や勤務先で行っているものづくり教室、花壇整備、清掃などのボラン

ティア活動の報告もありました。空き家問題に取り組んでいる方からは、この問題の大変さとともに、空き家が集いの場として有効活用されている成功例も紹介していただきました。秋たけなわの運河の鳥や蝶、花々の様子や、変化に富んだ秋の雲の観察といった自然観察のレポートもありました。気象予報士資格を持つセンタースタッフのミニレクチャーもあり、雲の話題は大いに盛りあがりました。

紅葉の季節を迎えるにあたり、環境記者の皆さんに区内の紅葉スポットの取材をお願いしました。自然の移り変わりに目を向けると、地域への関心、愛着が湧いてきますね。

今回も様々な話題で盛り上がりました。それぞれの興味が重なって広がっていき、4か月に一度集うことで相乗効果が生まれているようです。

環境情報活動センターのHPに、環境記者さんの投稿記事が載っています。是非アクセスしてみてください。本紙「ECOだより」を読んでくださっている皆さま、環境記者になってみませんか？どうぞお気軽に環境情報活動センターまでお問い合わせください。

Page2

区民環境記者募集中

をご覧ください。

## こんな講座を開催しました (平成28年9~11月)

### ●天気図の見方・読み方・作り方

(一般/9月11日)

気圧とは？雨はどのように降るの？風はどのように吹くの？など、気象の基本や、四季の天気図の見方と天気図の作り方をやさしく学び、実際に天気図を描いてもらいました。



### ●お天気の不しぎと気象実験

(小学生/9月19日)

曇のいろいろ、雨粒の形、きれいな虹、青空と夕焼けなどのお話の後、ペットボトル、つけもの器、缶コーヒーなどを使って楽しい気象実験を行いました。



### ●さき布から「ぞうり」を作ろう

(一般/9月22, 23日)

受講者にお持ちいただいた古布を使ってぞうりを作りました。講師オリジナルの作業台を使った2日間にわたる講座でした。ほとんどの方が一足仕上げられ、とても満足そうでした。



### ●LEDで飛び出す3D装置作り

(小学生/10月2日)

いろいろな種類の3D装置を触って試してみたり、参加型のデモンストラーションや観察を通して体感したりして、人間が立体視できる理由を探りました。また、環境にやさしいLEDを使った3D装置を自作して理解を深めました。



### ●宇宙旅行の疑似体験と星座

#### 早見盤作り (小学生/10月23日)

国立天文台制作ソフト「mi taka」で地球を飛び出し「宇宙旅行」に出発。地球、太陽、金星、火星……宇宙をどんどん進んでいきました。地球と他の惑星との違いを学び、星座早見盤を作りました。



### ●ツバメの生態から見た品川区の環境

(一般/10月30日)

今年の春～夏、品川区区内でツバメの繁殖を調査したところ、思わぬところで子育てしていることがわかりました。非常に貴重な調査結果をお話していただきました。



### ●しながわ中央公園での植物探検と花の万華鏡作り (小学生/11月3日)

公園に咲いている植物を観察。ガーデナーから花壇の花や、見頃の花の説明を受けました。また、竹と公園で採取した花を使って万華鏡をつくりました。



### ●暮らしをセンスアップ!

#### エコでおしゃれな風呂敷活用法

(一般/11月13日)

早速役に立つ目からウロコの風呂敷活用法に加え、意外な風呂敷の歴史や豆知識など、講師の歯切れのいいお話に教室は笑いに包まれ、楽しく為になる講座となりました。



### ●間伐材を使ってどんぐり人形を作ろう

(小学生/11月20日)

どんぐりの話を聞いた後、どんぐりを使って人形作りに取り組みました。バイオリンやギターを弾く人形作りは難しかったけれど、楽しかったと思います。



### ●再生可能エネルギーの現状と課題、将来展望

(一般/11月21日)

太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱などの再生可能エネルギーについて、明るい見通しと、一方でなかなか進まない現実を知ることができました。



#### しながわECOだより 2016年度Vol.3

発行：品川区都市環境部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成28年12月9日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ [http://shinagawa-eco.jp/mt\\_kouza/](http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/) でご覧いただけます。

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。